

平成 27 年 2 月 23 日
公益財団法人日本容器包装リサイクル協会
ガラスびん事業部

ガラスびん受払い月報の報告について

1. 月報報告対象事業者

「その他の原材料」を生産する全ての事業者です。該当事業者の方には、2月下旬に、REINS お知らせメールで、1年分の記入用エクセルファイル（「ガラスびん受払い月報書類書式」）を添付・送付します。ダウンロードしたエクセルに報告データを入力して、協会に送信（アップロード）してください。

2. 月報の報告形式と報告方法

(1) 報告形式

未処理ガラスびんの受払い月報（1/3）と再商品化製品の受払い月報（2/3）及び自社購入又は特定再商品化製品利用事業者の受払い月報（3/3）が一つのワークシートの表になっています。月ごとのワークシートで平成 27 年度全体のファイルになっています。

(2) 報告内容（以下の 2 種類です）

① 自社→他社

：通常の販売形式（1/3・2/3）

② 自社→自社（または特定再商品化製品利用事業者）→他社

：自社販売を経てから他社に最終製品販売。（1/3・2/3・3/3）

3. データ入力要領

(1) ファイルを開いたときに「マクロを有効にする」を選択してください。

(2) 年度初めの 4 月度分の報告時には、ワークシート「初期設定」で事業者コードを入力してください。再生処理事業者名が表示されます。

また、利用事業者への受払い区分を入力し、利用事業者名を入力してください。名称は、登録申請時の引き取り同意書の様式 3-2 に記載された事業者名を省略せずに入力してください。例：〇〇株式会社、有限会社□□ 等

(3) 4 月分の報告（5 月 7 日期限）では、平成 26 年度の契約事業者の方は、以下の項目について、必ず入力してください。

① 3 月末の市町村からの引取（容リ協会分のみ）の未処理在庫量(kg)。 (1/3)

② 3 月末の（容リ協会分のみを原料とする）製品在庫量(kg)。 (2/3)

③ 3 月末の（容リ協会分のみを原料とする）実質製品在庫量(kg)。 (3/3)

(4) 毎月 1 日から月末までのガラスびんまたは再商品化製品の受払い量を発生の都度入力します。在庫量や合計値等の値は計算式を組み込んであります。

(5) 投入量、生産量、販売量は平成 26 年度分、平成 27 年度分の両方を同一のワークシートに区別しないで入力してください。（実際の販売は平成 26 年度分から販売して、REINS での報告も平成 26 年度分在庫から販売してください。）

(6) 記入単位は「kg」で、引取量の色別、再商品化量の用途別は必要ありません。

(7) 受払い月報の様式のダウンロードの方法と入力済みの受払い月報のアップロードの方法は「平成 27 年度再商品化業務に係るオンライン操作マニュアル(ガラスびん)」を参照してください。

(8) 引取、製造、販売が無い場合も、必ず、期限内にエクセルファイルをアップロードしてください。

4. 受払い月報の加工投入量、製品生産量について

日々の加工投入量、製品生産量、販売量は実測値を記入してください。

事情により日々の実測値が計量できない場合は、例外的に計算値での報告を認める場合がありますが、その理由及び実測値の計算根拠を報告してください。報告は4月度の受払い月報の提出の時に、受払い月報の「受払い月報初期設定シート」の下部に記入してください。

受払い月報の(2/3)の製品販売量合計と REINS 販売実績の数量が一致していることを確認してください。

4月から6月までは前年度の繰越在庫を優先して加工投入して下さい。製品販売も同様となります。

5. 郵送する引取り伝票等の単位が重量 (k g) でなく m³等の時は、重量への換算式を受払い月報の「受払い月報初期設定シート」の下部に記入してください。

6. 報告期限

原則毎月5日 (月別の期限は資料13及び14を参照してください)

7. メール報告または「受領書」の写しが提出されない場合

受払い月報または利用事業者の「受領書」の写しが期限までに提出されない場合、または内容が不適切な場合は、当月の支払いが出来なくなりますので、充分にご注意ください。

8. 月報作成時の基本的考え方

- ・処理後のカレットの販売先形態により、提出書類と異なります。

製造、販売形態	用途	提出書類
<p>1. 再生処理事業者が処理後のカレットを原料として、第三者の再商品化製品利用事業者へ販売した場合</p> <div style="text-align: center;"> <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 20px;">再生処理事業 者</div> → <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 5px;">第三者の利 用事業者</div> </div> <p>(引取同意書)</p>	<p>ガラス短繊維 コンクリート 二次製品、 発泡骨材等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受払い月報 (1/3)、(2/3) を記入して REINS で提出 ・ 第三者の利用事業者の「引取り伝票」の写しを郵送 (* 1) ・ (3/3) の記入は不要。
<p>2. 再生処理事業者が処理後のカレットを原料として自ら利用事業者として最終製品を製造し、引取同意書無しの第三者に販売している場合。 または、特定再商品化利用事業者で販売した後、第三者に最終販売している場合</p> <div style="text-align: center;"> <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 20px;">再生処 理事業 者</div> → <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 20px;">自社が利用事 業 者または 特定再商品化製 品利用事業者</div> → <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 5px;">第三 者 の利 用 事 業 者 (* 2)</div> </div> <p>(引取同意書) (最終製品製造) (様式3-2の付属書)</p>	<p>コンクリート 二次製品、 骨材、 合材、 ガラス砂、 発泡骨材等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受払い月報 (1/3)、(2/3)、(3/3) を記入して REINS で提出 ・ 第三者の利用事業者の「引取り伝票」の写しを郵送 (* 1)

注 (* 1) 引取伝票 (販売先の受領伝票) には、販売先の受領印または担当者サインのあるものをコピーしてください。

また、A 4 版サイズより小さい伝票のコピーは、数枚まとめて A 4 用紙にコピーして、できるだけ A 4 サイズにして提出してください。

※ 宅配便の受取伝票は受領伝票として認めません。

(* 2) 第三者の利用事業者は登録申請時の引き取り同意書の「様式 3 - 2 の付属書」に記載された事業者です。平成 27 年度中に、新たな販売先に販売するときは、速やかに「様式 3 - 2 の付属書」を REINS で入力・修正して、印刷・提出してください。

●受払い月報初期設定シート

I. 右欄に事業者コードを入力してください

--

事業者名： I. に正しいコードを入力してください

II. 利用事業者への受払い区分を入力してください（※）
1：自社→他社 2：自社→自社

1

※正しい事業者コードを入力すると
自動で設定されます。
受払い区分が違う場合は手入力で設定下さい。

※1：自社→他社の場合は、自社購入又は特定再商品化製品利用事業者の製品受払い月報（3/3）の記入は不要です。

自社購入又は特定再商品化製品利用事業者の受払い（自社→自社）がある場合は
以下に特定再商品化製品利用事業者名を入力してください。複数社ある場合は同一セルに併記して下さい

特定再商品化製品利用事業者名：

--

正しいコードを入力してください

●単位換算について

郵送する引取伝票の単位が重量（kg）でない場合は、下記に換算式を記入して下さい
例：1 m³=1,500kg、一袋20リットル=15kg

1 m ³ =

●加工投入量等について

日々の加工投入量、製品生産量、販売量は、実測値を記入して下さい
事情により日々の実測値が計量できない場合は、例外的に計算値で記入も認める場合がありますが、
下記に①実測できない理由と②計算値の計算根拠を記入して下さい。
枠内に書ききれない場合は、枠の下に記入して下さい。

記入例(4月から6月まで)

ガラスびん受払い月報

※在庫量がマイナスになると、セルが赤くなります。在庫量がマイナスにならないように修正してください。

H27年4月分 報告

事業者名:

Aガラスリサイクル株式会社

特定再商品化製品
利用事業者名:

B株式会社

日	未処理ガラスびんの受払い月報(1/3)				再商品化製品の受払い月報(2/3)						自社購入又は特定再商品化製品利用事業者の製品受払い月報(3/3)			
	市町村からの引取量	加工投入量	未処理在庫量(本年度)	未処理在庫量(前年度)	製品生産量	稼働時間	製品販売量 自社と他社		製品在庫量(本年度)	製品在庫量(前年度)	製品購入量	製品最終販売		実質製品在庫量
	計(kg)	計(kg)	計(kg)	計(kg)	計(kg)	計(h)	販売先名	計(kg)	計(kg)	計(kg)	計(kg)	販売先名	計(kg)	計(kg)
前月末残				15,600						30,000				25,000
1	34,000	5,000	34,000	10,600	4,900	7:00	B株式会社	4,900	0	30000	4,900			29,900
2		5,000	34,000	5,600	4,890	7:00	B株式会社	4,890	0	30000	4,890			34,790
3		5,000	34,000	600	4,980	7:00	B株式会社	4,980	0	30000	4,980			39,770
4		4,000	30,600	0	3,970	6:00	B株式会社	3,970	3,375	26625	3,970			43,740
5		4,000	26,600	0	3,970	6:00	B株式会社	3,970	7,345	22655	3,970			47,710
6			26,600	0					7,345	22655				47,710
7		5,000	21,600	0	4,960	7:00	B株式会社	4,960	12,305	17695	4,960	ホームセンターD	35,000	17,670
8		4,500	17,100	0	4,980	6:30	B株式会社	4,980	17,285	12715	4,980			22,650
9		4,500	12,600	0	4,450	6:30	B株式会社	4,450	21,735	8265	4,450			27,100
10			12,600	0					21,735	8265				27,100
11			12,600	0					21,735	8265				27,100
12	15,000	5,000	22,600	0	4,900	7:00	B株式会社	4,900	26,635	3365	4,900			32,000
13		5,000	17,600	0	4,960	7:00	B株式会社	4,960	30,000	0	4,960			36,960
14		5,000	12,600	0	4,980	7:00	B株式会社	4,980	30,000	0	4,980			41,940
15			12,600	0					30,000	0		E道路整備株式会社	40,000	1,940
16			12,600	0					30,000	0				1,940
17		5,000	7,600	0	4,890	7:00	B株式会社	4,890	30,000	0	4,890			6,830
18			7,600	0					30,000	0				6,830
19			7,600	0					30,000	0				6,830
20	45,000	4,500	48,100	0	4,460	6:30	B株式会社	4,460	30,000	0	4,460			11,290
21		4,500	43,600	0	4,320	6:30	B株式会社	4,320	30,000	0	4,320			15,610
22		4,500	39,100	0	4,470	6:30	B株式会社	4,470	30,000	0	4,470			20,080
23			39,100	0					30,000	0				20,080
24		5,000	34,100	0	4,910	7:00	C建設有限会社	15,000	19,910	0				20,080
25			34,100	0					19,910	0				20,080
26		5,000	29,100	0	4,900	7:00	C建設有限会社	15,000	9,810	0				20,080
27		5,000	24,100	0	4,960	7:00	C建設有限会社	4,770	10,000	0				20,080
28		5,000	19,100	0	4,800	7:00	C建設有限会社	14,800	0	0				20,080
29			19,100	0					0	0				20,080
30			19,100	0					0	0				20,080
合計	94,000	90,500			89,650	128:30		119,650			70,080			75,000

↑※1

↑※3
再商品化率
99.06%

↑※2

↑※3

- ・市町村からの引取量の合計(※1)は、REINSの実績報告の、当月引取量の合計と必ず合致させてください。
- ・加工投入量は一般廃棄物処理施設設置許可量(日量)を超えないよう留意してください。
- ・再商品化率は極力、実測値にてご報告願います。
- ・※2再商品化製品の受払い月報(2/3)の製品販売量合計(※2)は、REINSの実績報告の月間販売量合計と必ず合致させてください。
- ・前年度繰越未処理在庫と製品在庫がある場合は4月から6月までは優先して前年度分より製品化、販売してください。前年度在庫が販売され次第、本年度在庫を販売してください。
- ・稼働時間は加工投入から生産に要した時間を入力して下さい。
- ・※3 4月から6月までは優先して前年度の繰り越し在庫が使用されます。

記入例(7月以降)

ガラスびん受払い月報

※在庫量がマイナスになると、セルが赤くなります。在庫量がマイナスにならないように修正してください。

H27年7月分 報告

事業者名: Aガラスリサイクル株式会社

特定再商品化製品
利用事業者名:

B株式会社

日	未処理ガラスびんの受払い月報(1/3)			再商品化製品の受払い月報(2/3)					自社購入又は特定再商品化製品利用事業者の製品受払い月報(3/3)			
	市町村からの引取量	加工投入量	未処理在庫量	製品生産量	稼働時間	製品販売量 自社と他社		製品在庫量	製品購入量	製品最終販売		実質製品在庫量
	計(kg)	計(kg)	計(kg)	計(kg)	計(h)	販売先名	計(kg)	計(kg)	計(kg)	販売先名	計(kg)	計(kg)
前月末残			19,100					0				20,080
1			19,100					0				20,080
2		5,000	14,100	4,950	8:00	B株式会社	4,950	0	4,950	H建設株式会社	20,000	5,030
3	35,000		49,100					0				5,030
4		5,000	44,100	4,900	8:00	B株式会社	4,900	0	4,900	Iグループ	8,000	1,930
5		4,000	40,100	3,960	7:00			3,960				1,930
6		4,000	36,100	3,840	7:00			7,800				1,930
7		4,000	32,100	3,790	7:00			11,590				1,930
8			32,100					11,590				1,930
9			32,100					11,590				1,930
10		4,000	28,100	3,940	7:00			15,530				1,930
11		5,000	23,100	4,910	7:00			20,440				1,930
12		5,000	18,100	4,830	8:00			25,270				1,930
13		5,000	13,100	4,890	8:00			30,160				1,930
14		4,000	9,100	3,960	7:00			34,120				1,930
15			9,100					34,120				1,930
16		4,000	5,100	3,930	6:00			38,050				1,930
17		5,000	100	4,950	7:00			43,000				1,930
18	45,000		45,100					43,000				1,930
19		5,000	40,100	4,960	7:00			47,960				1,930
20		5,000	35,100	4,970	7:00			52,930				1,930
21		5,000	30,100	4,980	7:00			57,910				1,930
22			30,100					57,910				1,930
23		5,000	25,100	4,890	7:00			62,800				1,930
24		5,000	20,100	4,950	7:00			67,750				1,930
25		5,000	15,100	4,970	7:00			72,720				1,930
26			15,100					72,720				1,930
27	8,000	4,500	18,600	4,460	6:00			77,180				1,930
28		4,500	14,100	4,400	6:00	B株式会社	40,000	41,580	40,000			41,930
29		4,500	9,600	4,370	6:00	B株式会社	35,000	10,950	35,000			76,930
30			9,600					10,950		J建設株式会社	75,000	1,930
31			9,600					10,950				1,930
合計	88,000	97,500		95,800	147:00		84,850		84,850		103,000	
	↑※1			再商品化率			↑※2					
				98.26%								

9-9様算

- 市町村からの引取量の合計(※1)は、REINSの実績報告の、当月引取量の合計と必ず合致させてください。
- 加工投入量は一般廃棄物処理施設設置許可量(日量)を超えないよう留意してください。
- 再商品化率は極力、実測値にてご報告願います。
- 再商品化製品の受払い月報(2/3)の製品販売量合計(※2)は、REINSの実績報告の月間販売量合計と必ず合致させてください。
- 稼働時間は加工投入から生産に要した時間を入力して下さい。